

サル接近警戒システム = 猿人善快 =

平成16年10月設置

田んぼのど真ん中で受信記録も出来る、独立電源方式

岡山県真庭郡落合町



地元では、格好いいと評判の
オリジナル支柱(ソーラーパネル架台付き)

本体(金属BOX 600x900)の内部
二重構造で、中にはABSケースに収められた本体を収納

受信機の背中に背負っている白い箱は、この度登場した
ロガー装置(オプション/動作記録5000回を記憶)です

足下のブロックは、基礎が落ち着くまでの支えです

落合町 2基目の導入です

初回は、畑のど真ん中でしたが、今度は、田んぼの淵に設置です(道路の面より低い位置)
サルの通路と、人の生活圏という意味では見晴らしの良い場所なのですが、近くを高速道路が走っており、このノイズが気になります
他の設置場所より、検知感度を少し落としています

本機は、受信記録を最大5000回分…ある周波数の電波を受信した～受信しなくなったという記録を最大5000回…内部に記憶できるオプション(ロガー)を内蔵しています
行動域調査研究に役立つものと期待されています
記録データの取り出しは、ノートPCを持参することで、容易にダウンロードできます
(フリーのターミナルソフトをご紹介します)
また、すぐにExcelで読み出して使えるように、データ構造も工夫してあります

